

# 「絵本のまち板橋」とは

板橋区では、友好都市であるイタリア・ボローニャ市との交流や、印刷産業が多く立地する区の特徴を活かした板橋ならではのブランドとして、令和8年1月に発出した「みんなに かけ橋 いたばし創造都市宣言」に則り、絵本の持つ創造性と寛容性を活かし、「絵本のまち」を推進しています。

▶「絵本のまち板橋」ホームページ

<https://www.city.itabashi.tokyo.jp/kusei/promotion/1025922/index.html>

## ●イタリア・ボローニャ市との交流

板橋区立美術館で「ボローニャ国際絵本原画展」を開催して以来交流が続き、友好都市交流協定を締結。中央図書館に併設される「いたばしボローニャ絵本館」では、同市から寄贈された約3万冊の絵本を収蔵。ボローニャ児童図書展事務局からの児童図書寄贈を受けて「ボローニャ・ブックフェアinいたばし」や、外国語絵本の翻訳作品を募集する「いたばし国際絵本翻訳大賞」を毎年実施している。

## ●板橋区の印刷製本業

板橋区は東京都内の中でも特にものづくりが盛んな地域であり、令和3年度の統計調査では、製造出荷額等の項目で、23区中第3位（2兆9,986億円）となっている。また、印刷・同関連業についても、23区中2位（全国で3位 823億円）で印刷製本業に強い地域である。

## 創造都市とは

芸術・文化・デザインなどの創造的な活動を、地域の価値創出と課題解決、そして人と人の交流へとつなげる考え方をもち、その取組を継続して進める都市のこと。

## ユネスコ創造都市ネットワーク（UCCN）とは

経済的、社会的、文化的、環境的側面において、創造性を持続可能な開発の戦略的要素として認識している都市間の協力を強化することを目的として2004年にユネスコが創設したネットワークのこと。

8つの分野（文学・映画・音楽・クラフト&フォークアート・デザイン・メディアアート・食文化・建築）で、世界90か国超から約350都市が加盟。

# みんなに かけ橋 いたばし創造都市宣言



板橋区は、区民一人ひとりの創意を原動力とし  
あたたかでやさしいつながりを創り出す  
創造都市(Creative City)であることを宣言します。

創造都市とは、芸術・文化・デザインなどの  
創造的な活動を、地域の価値創出、課題解決、  
人と人の交流につなげ、その取り組みを継続する都市です。

板橋区は、その実現のため、  
「絵本のまち板橋」を軸とした活動を進めています。  
これは、絵本の都ポローニャとの交流、  
図書館・美術館の実績、  
印刷・製本などのものづくり基盤を土台に、  
絵本の持つ創造性と寛容性を活かし、  
様々な交流や連鎖を生み出している取組です。

私たちは、デザインを、  
人々の創意や地域の資源の潜在的な価値を誰もが理解し、  
活用していくための知恵、  
人と地域と未来をつなぐかけ橋と捉えます。  
今後もこのデザインの考え方をまちづくりの  
あらゆる場面に応用し、交流・対話を重ねながら、  
持続可能な地域社会を共に創造していきます。

## 1. 人と人との「つながり」を育む

日々の暮らしの中にある一人ひとりの「創意」を尊重するとともに、  
そこで生まれる個性を受け入れる「寛容性」が息づく地域文化を育むことで、  
誰もが社会とのつながりを実感できる包摂的な環境を整えます。

## 2. 人とまち、文化と産業を「つなげる」

「人」と「創意」を起点とし、  
対話を通じて活動を生み出すまちづくりのプロセスを重視することで、  
新たな文化的挑戦を産業振興のみならず、  
地域社会の様々な分野へとつなげる創造の循環を育み、  
持続可能な地域経済の実現をめざします。

## 3. 世界を「つなぎ」、未来をひらく

住民、NPO、企業、団体など、多様な主体が共創する基盤を整え、  
「絵本のまち」を軸とした共感と参画の好循環を創出します。  
このつながりから生まれる発信を国際的なネットワークへ発展させ、  
そのハブとして地球規模の課題解決に取り組みます。

令和8年1月28日 板橋区長

坂本 健